

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市子ども夢パーク	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 川崎市子ども夢パーク共同運営事業体 ・代表者名 公益財団法人川崎市生涯学習財団 理事長 金井 則夫 川崎市中原区今井南町514-1 ・構成員名 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば 理事長 西野 博之 川崎市高津区千年435-10	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成23年4月1日 ~ 平成28年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数:91,437人 (平成25年度:93,550人)	②年間延べ利用団体数:908団体 (平成25年度:749団体)
収支実績	1 収入 単位:円 指定管理料 67,873,097 合計 67,873,097 2 支出 人件費・賃金 23,235,458 光熱水費 3,969,124 委託費 8,954,767 消耗品費 876,708 修繕費 4,766,938 その他経費 26,064,414 合計 67,867,409 3 差引 5,688	
サービス向上の取組	川崎市子どもの権利に関する条例の理念に沿った事業展開を実施していた。また、利用者との意見交換を定期的に行い、サービス向上に取り組んでいた。	

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	4	4
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	5	5
	(評価の理由)	計画していた以上に高い利用者数を記録し、充実した事業展開の成果が表れており、利用者数は、第1期指定管理時と比較して、約31.9%の増であった。 【参考】第1期指定管理時(平成18年度～平成22年度)年度平均利用者数:69,296人			
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	3	6
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
	効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか				
	(評価の理由)	仕様に基づき、適正な会計処理が行われた。 来所者数増による光熱水費の増加、経年劣化による急な修繕対応のため備品費や修繕費の増加が見られたが、交通費・郵送費・燃料費など他経費の削減を行い、適切な支出を行った。			

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	5	5
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	5	10
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	4	8
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>定期的に広報誌を発行し、隔月で9,500部を配布した。積極的に見学や視察を受け入れ、ホームページや新聞・テレビ・ラジオ・情報誌等を利用してPRした。また、JR南武線の乗客から見通しのよい2階の窓に、施設名を大きくレタリングをしたカットティングシートを貼り、より多くの市民に活動を知ってもらうため広報をした。文部科学大臣やユニセフを始めとする153団体の視察を受け入れ、施設や事業の周知に寄与した。利用者への接遇について、特に新任職員を対象とした研修機会を多く設け、スキルアップに努めた。不登校児童生徒の居場所として、26年度も大きな役割を果たし、学校や行政と連携を図って事業を実施した。アンケートを実施し、常に外部からの意見を取り入れるようにした。市民によるボランティア団体「夢パーク支援委員会」と連携を取り、市民の声を活かした運営を行った。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	4	4
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <p>必要な有資格者が採用され、計画どおりの人員配置が行われた。年間を通して予定どおりの研修が計画的に実施され、特に平成26年度は発達障害を始めとする様々な障害への理解を深める機会を積極的に設けた。個人情報の取扱いについては、適切に運用された。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
災害発生時のマニュアル等が整備されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>修繕の必要な箇所を把握し、適正な修繕を行っていた。事故等が発生した場合のマニュアルが整備され、適切な対応がされていた。防犯に係る緊急時のマニュアルが整備されており、計画にある防犯のための取組が実施されていた。災害発生時のマニュアルが整備されており、法定訓練等が実施されていた。</p>					

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価
A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、
C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、
E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

川崎市子どもの権利に関する条例の理念が生かされる象徴的な施設として、子ども及び利用者のニーズを十分に把握して事業推進を図っており、引き続き高い利用者数を記録した。
各種広報媒体の活用が十分になされており、他都市からの多数の視察の受入などにより、施設・事業・関係条例などの周知に努めていた。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、青少年の体験学習や子どもの居場所づくりのため、適切な管理運営を行うこと。各種広報媒体等の充実を維持するよう努めること。